

実践的なプラスチック循環技術を公開！ ー共同研究成果をサーキュラー・エコノミーEXPOに出展ー

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（都産技研）は、2024年度と2025年度にプラスチック循環技術について公募型共同研究事業※を実施してきました。研究を通して得た実践的な成果として、都内中小企業の技術開発の取り組みを披露します。

今回紹介するのは、①グリーンプラ株式会社、②三和テクノロジーズ株式会社、③センチュリーイノベーション株式会社、④株式会社ExtraBoldの4社です。

これらの成果は、2026年3月17日（火）から19日（木）まで東京ビッグサイトで開催される「サーキュラー・エコノミーEXPO」に出展します。

■ 展示会概要

展示会：サーキュラー・エコノミーEXPO

場 所：東京ビッグサイト 東7ホール

会 期：2026年3月17日（火）～ 19日（木）

ブース：E31-48

4社それぞれについて、研究概要パネルや成果物、動画の展示を予定しています。また、サーキュラー・エコノミーへの転換支援事業の初年度に三菱総合研究所の協力のもと作成した、フードロス対策、プラスチックの削減・再利用などを中心とした現状と課題および課題解決に向けた取り組み事例、技術開発マップなどのリーフレットも紹介します。

■ 展示会内セミナー

2026年3月18日 展示会内セミナー会場にて各テーマのプレゼンテーションを行います。

Part I：13:30～14:00 マテリアルリサイクル技術の開発

- ① グリーンプラ株式会社：PETバンドのマテリアルリサイクル技術開発
梱包用バンドの販売・回収フローを生かし、使用済みPETバンドの水平リサイクルプロセスの開発とアスファルト改質剤としての可能性を評価
- ② 三和テクノロジーズ株式会社：高機能樹脂のクローズドループ・リサイクル技術の開発
自社製品の製造時に排出されるランナーなどの高純度なエンジニアリングプラスチックの再利用技術とこれを用いた製品を開発

Part II：14:30～15:00 リサイクルのための装置開発

- ③ センチュリーイノベーション株式会社：廃プラの利用を促進する大容量溶融器の実用開発
金属等が混在する残渣を混練した樹脂も成形可能な自社開発のスクリュース低圧射出成形機の大型・耐摩耗性溶融器を開発
- ④ 株式会社ExtraBold：アップサイクル3Dプリンタの研究開発
プラスチックに各種の廃材をコンパウンドしてアップサイクルすることを目的として、リペレットプロセスを省略した3Dプリンタシステムを開発

※公募型共同研究とは、都産技研が中小企業者に研究開発を委託し、その研究開発の一部を都産技研が分担（都産技研が保有するシーズの活用や施設・設備の利用等）して実施する共同研究です。

【お問い合わせ】 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
企画部プロジェクト企画室 添田 TEL 03-5530-2558
企画部経営企画室 大原 TEL 03-5530-2521 MAIL koho@iri-tokyo.jp

<https://www.iri-tokyo.jp/>